

Linux/Android/WinCE 対応マルチ・メディア ARM11 ボード Idea6410+LCD4.3 の Android 1.5 マニュアル

株式会社日昇テクノロジー

http://www.csun.co.jp

info@csun.co.jp

2010/2/5

copyright@2010





修正履歴

NO	バージョン	修正内容	修正日
1	Ver0.1	新規作成	2010/2/5
2	Ver0.2	ビルド操作手順の追加	2010/02/16

- ※ 使用されたソースコードは http://www.csun.co.jp/からダウンロードできます。
- ※ この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。
- ※ (株)日昇テクノロジーの書面による許可のない複製は、いかなる形態に おいても厳重に禁じられています。



1.1 コンパイラをインストール 4 1.2 インストール成功したか確認する 4 第二章 u-boot のコンパイル 5 2.1 u-boot-movi.bin のコンパイル 5 2.2 u-boot-nand.bin のコンパイル 6 第三章 カーネルのコンパイル 6 3.1 zImage-fix-debug のコンパイル 6 3.2 zImage-fix-nand のコンパイル 6 第四章 cupcake のコンパイル 7 4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 第五章 イメージファイルを書き込む 6 5.1 書き込む条件 6 5.2 書き込む手順 9 付録:ネットワーク設定 15	第一章 Cross-compile のインストール	4
第二章 u-boot のコンパイル 5 2.1 u-boot-movi.bin のコンパイル 5 2.2 u-boot-nand.bin のコンパイル 6 3.1 zImage-fix-debug のコンパイル 6 3.2 zImage-fix-nand のコンパイル 6 第四章 cupcake のコンパイル 7 4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 5.1 書き込む条件 6 5.2 書き込む手順 6	1.1 コンパイラをインストール	4
2.1 u-boot-movi.bin のコンパイル 5 2.2 u-boot-nand.bin のコンパイル 5 第三章 カーネルのコンパイル 6 3.1 zImage-fix-debug のコンパイル 6 3.2 zImage-fix-nand のコンパイル 6 第四章 cupcake のコンパイル 7 4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 第五章 イメージファイルを書き込む 9 5.1 書き込む条件 9 5.2 書き込む手順 9	1.2 インストール成功したか確認する	4
2.1 u-boot-movi.bin のコンパイル 5 2.2 u-boot-nand.bin のコンパイル 5 第三章 カーネルのコンパイル 6 3.1 zImage-fix-debug のコンパイル 6 3.2 zImage-fix-nand のコンパイル 6 第四章 cupcake のコンパイル 7 4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 第五章 イメージファイルを書き込む 9 5.1 書き込む条件 9 5.2 書き込む手順 9	第二章 u-boot のコンパイル	5
第三章 カーネルのコンパイル 6 3.1 zImage-fix-debug のコンパイル 6 3.2 zImage-fix-nand のコンパイル 7 第四章 cupcake のコンパイル 7 4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 第五章 イメージファイルを書き込む 9 5.1 書き込む条件 9 5.2 書き込む手順 9		
3.1 zImage-fix-debug のコンパイル 6 3.2 zImage-fix-nand のコンパイル 6 第四章 cupcake のコンパイル 7 4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 第五章 イメージファイルを書き込む 9 5.1 書き込む条件 9 5.2 書き込む手順 9	2.2 u-boot-nand.bin のコンパイル	5
3.2 zImage-fix-nand のコンパイル 6 第四章 cupcake のコンパイル 7 4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 第五章 イメージファイルを書き込む 9 5.1 書き込む条件 9 5.2 書き込む手順 9	第三章 カーネルのコンパイル	6
第四章 cupcake のコンパイル 7 4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 第五章 イメージファイルを書き込む 9 5.1 書き込む条件 9 5.2 書き込む手順 9	3.1 zImageーfixーdebug のコンパイル	6
4.1 準備作業 7 4.2 コンパイル 7 第五章 イメージファイルを書き込む 9 5.1 書き込む条件 9 5.2 書き込む手順 9	3.2 zImage−fix−nand のコンパイル	6
4.2 コンパイル 3 第五章 イメージファイルを書き込む 5 5.1 書き込む条件 5 5.2 書き込む手順 5	第四章 cupcake のコンパイル	7
第五章 イメージファイルを書き込む 5.1 書き込む条件 9 5.2 書き込む手順 9	4.1 準備作業	7
5.1 書き込む条件	4.2 コンパイル	7
5.2 書き込む手順	第五章 イメージファイルを書き込む	ç
	5.1 書き込む条件	ç
付録:ネットワーク設定	5.2 書き込む手順	ξ
	付録:ネットワーク設定	19



第一章 Cross-compile のインストール

Version:Android-1.5_v0.10

Linux 環境:ubuntu-9.04

1.1 コンパイラをインストール

toolchains フォルダの arm-none-linux-gnueabi-arm-2008q3-72-for-linux.tar.bz2 を/usr/local/arm/フォルダにインストールする。

下記コマンドを実行する:

tar jxvf arm-none-linux-gnueabi-arm-2008q3-72-for-linux.tar.bz2 -C /

※デフォルタのフォルダが/usr/local/arm/

1.2 インストール成功したか確認する

```
fusq@fusq-urbetter:~$
fusq@fusq-urbetter:~$ ls /usr/local/arm/
3.3.2 3.4.1 4.2.2-eabi arm-none-linux-gnueabi
fusq@fusq-urbetter:~$
fusq@fusq-urbetter:~$
```

arm-none-linux-gnueabiが/usr/local/arm/にインストールされている。

第二章 u-boot のコンパイル

u-bootは二つある: u-boot-movi.binとu-boot-nand.bin

u-boot-movi.bin:SDカードに書き込んで、SDカードからの起動を実現する。ソース

bootloader/u-boot-1.1.6-ut-s3c6410-moviをコンパイルして出来上がる。

u-boot-nand.bin: nand flashに書き込んで、nandからの起動を実現する。ソース

bootloader/u-boot-1.1.6-ut-s3c6410-nandをコンパイルして出来上がる。

2.1 u-boot-movi.bin のコンパイル

bootloader/u-boot-1.1.6-ut-s3c6410-moviフォルダで下記コマンドを実行する:

- # make clean
- # make smdk6410_config
- # make
- # ./mkmovi

実行後、カレントフォルダにu-boot-movi.binファイルが生成される。

2.2 u-boot-nand.bin のコンパイル

bootloader/u-boot-1.1.6-ut-s3c6410-nandフォルダで下記コマンドを実行する:

- # make clean
- # make smdk6410_config
- # make
- # ./mknand

実行後、カレントフォルダにu-boot-nand.binファイルが生成される。



第三章 カーネルのコンパイル

カーネルは二つある: zImage-fix-debugとzImage-fix-nand

zImage-fix-debug: SDカードに書き込んで、SDカードから起動して他のImageファイルを書き込むに使う。

zImage-fix-nand: nand flashに書き込んで、nandから起動した時のzImage。

■使用ソースコード: 下記 URL からダウンロード

http://www.dragonwake.com/download/idea6410/en/urbetter-android-1.5_v1.0.tgz

3.1 zImage-fix-debug のコンパイル

kernel/urbetter-android-1.5-2.6.27/フォルダで下記コマンドを実行する:

- # make clean
- # cp urbetter-android-debug-430.config .config
 - 7" のLCDを使っている場合は cp urbetter-android-debug-700.config .config
- # make menuconfig
- # make
- # ./fix-image

実行後生成されたzImage-fixをカレントフォルダにコピーして下記コマンドでファイル名を zImage-fix-debugに変更する。

cp arch/arm/boot/zImage-fix ./zImage-fix-debug

3.2 zImage-fix-nand のコンパイル

下記コマンドを実行する:

- # make clean
- # cp urbetter-android-nand-430.config .config

7" のLCDを使っている場合は cp urbetter-android-nand-700.config .config

- # make menuconfig
- # make
- # ./fix-image

実行後生成された zImage-fix をカレントフォルダにコピーして下記コマンドでファイル 名を zImage-fix-nand に変更する。

cp arch/arm/boot/zImage-fix ./zImage-fix-nand



第四章 cupcake のコンパイル

4.1 準備作業

まず、cupcakeフォルダにあるソースコードをカレントフォルダに解凍する。

sudo tar xvf urbetter-android-cupcake.tar.bz2

cupcakeフォルダに入る。

cd android_cupcake

環境変数を設定する。

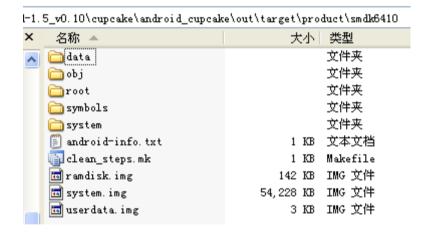
export ANDROID_JAVA_HOME=/usr/lib/jvm/java-6-sun/

4.2 コンパイル

make -j4 TARGET_PRODUCT=sec_smdk6410

少し時間がかかる。

コンパイル完了後、カレントフォルダ (android_cupcake) に「out」フォルダが生成される。
Out/target/product/smdk6410/フォルダの中身を見るとandroidのルートファイルシステム関連の
すべてのファイルが生成されている。



◆ systemフォルダにあるすべてのファイルをroot/systemフォルダにコピーする。 ユーザーのニーズに応じて、独自で作成したアプリやWEBからダウンロードしたアプリを root/system/appフォルダに追加して利用できる。弊社からも一部のアプリとゲームを (apkファイル)をtest file/apk/softwareとgamesフォルダで提供している。

ユーザーから変更あるいは追加があった場合は、全コンパイルが必要。その場合、「out」フォルダを丸ごと削除して再コンパイルする必要。









◆ ルートファイルシステムの圧縮

Out/target/product/smdk6410/root/で下記コマンドを実行する:

sudo tar cvf ../urbetter-android-1.5-rootfs.tar *

カレントフォルダに生成されたurbetter-android-1.5-rootfs.tarファイルがルートファイルシステムになる。

ホームページ : http://www.csun.co.jp

メール: info@csun.co.jp



第五章 イメージファイルを書き込む

5.1 書き込む条件

5-1-1.使用マニュアル:上記の環境を解凍後、下記マニュアルを使用した。

urbetter-android-1.5_v0.10\text{\text{4}}doc\text{\text{\text{4}}android-1.5-UserManual_v0.10.pdf}

5-1-2.使用 SD カード: Panasonic1GB×2

5-1-3.手順:

下記イメージを使用した。あるいは第五章前にコンパイルされたファイルを利用してください。

¥urbetter-android-1.5 v0.10¥image¥image-480 272

u-boot-movi.bin

u-boot-nand.bin

zImage-fix-debug

zImage-fix-nand

5.2 書き込む手順

5-2-1. Eboot 用の SD カードの作成

マニュアルに記載されている Eboot は使用環境に存在しないため、idea6410 付属の DVD より入手(下記ファイル)した。

DVD\Tools\SDboot\IROM_Fusing_Tool.exe

IROM_SD_EBOOT.nb0

SD boot.txt

- •WindowsPC 上で SD カードを Format する Format は FAT32 で実施。
- •Image file to fuse に「IROM_SD_EBOOT.nb0」を指定。
- •SD/MMC Driver に SD カードのドライブを指定。
- •START キー押下。

5-2-2. Eboot でブロックの削除

- •idea6410 に SD カードを挿入し、電源を投入。
- ・起動され、3 秒以内にスペースキーを押下。
- ・メニューより「A」を選択。
- ・「Erasing block」を確認。

5-2-3. boot 用の SD カード作成

Eboot 用とは別に用意した SD カードに対して実施した。

使用ツールはイメージファイルと同じフォルダのものを使用した。

urbetter-android-1.5_v0.10\pi image\pi image-800_400\pi moviNAND_Fusing_Tool.exe



- •WindowsPC 上で SD カードを Format する Format は FAT32 で実施。
- •WindowsPC 上で moviNAND Fusing Tool.exe を実行。
- •SD/MMC Driver に SD カードのドライブを指定。
- •Bootloader の Image file に「u-boot-movi.bin」を指定。
- •Specific Sector の Sector に 32 を指定。
- •Specific Sector の Image file に「zImage-fix-debug」を指定。
- ·START キー押下。
- 5-2-4. urbetter-android-1.5-rootfs.tar のコピー
 - ・Eboot と同じ SD にコピー。

5-2-5. idea6410 の設定: SD ブート: SW1 を「1111」に設定

5-2-6. Flash 内容をクリア

1.【操作条件】

- ① シリアルケーブルを PC と接続(シリアルケーブルは USB アダプタにて変換)、Serial Port を Connect とする。
- ② SD ブート状態:1111
- ③ SD1 カードを ARM11 ボードに入れ、電源を投入、Linux を起動します。
- 2.【ハイパーターミナル上に結果画面】

```
Done.
chvt: can't open console
modprobe: chdir(2.6.29): No such file or directory
s3c-nand: ECC uncorrectable error detected
modprobe: chdir(2.6.29): No such file or directory
Spawning shell within the initramfs
/bin/sh: can't access tty; job control turned off
(initramfs):/#
```



3.【操作内容】

flash_eraseall /dev/mtd0 flash_eraseall /dev/mtd1 flash_eraseall /dev/mtd2 flash_eraseall /dev/mtd3

```
(initramfs):/#
(initramfs):/# flash eraseall /dev/mtd0
Erasing 128 Kibyte @ 60000 -- 75 % complete.
(initramfs):/#
(initramfs):/#
(initramfs):/# flash eraseall /dev/mtd1
Erasing 128 Kibyte @ 4e0000 -- 97 % complete.
(initramfs):/#
(initramfs):/#
(initramfs):/# flash eraseall /dev/mtd2
Erasing 128 Kibyte @ 2e0000 -- 95 % complete.
(initramfs):/#
(initramfs):/#
(initramfs):/# flash eraseall /dev/mtd3
Erasing 128 Kibyte @ 4ac0000 -- 30 % complete.
Skipping bad block at 0x04ae0000
Erasing 128 Kibyte @ 4ee0000 -- 31 % complete.
Skipping bad block at 0x04f00000
Erasing 128 Kibyte @ cb40000 -- 82 % complete.
Skipping bad block at 0x0cb60000
Erasing 128 Kibyte @ f6e0000 -- 99 % complete.
(initramfs):/#
(initramfc):/#
```



5-2-7. ルートファイルシステムを書き込む準備

- 1 ARM11 ボードを再起動
- 2 再起動できたら、下記操作を行います。

```
ubiattach /dev/ubi_ctrl -m 3
ubimkvol /dev/ubi0 -N rootfs -s 200MiB
mount -t ubifs ubi0:rootfs /mnt
```

```
(initramfs):/#
(initramfs):/#
(initramfs):/# ubiattach /dev/ubi ctrl -m 3
ubiattach: error!: cannot attach mtd3
           error 17 (File exists)
(initramfs):/#
(initramfs):/#
(initramfs):/#(ubimkvol /dev/ubi0 -N rootfs -s 200MiB )
Volume ID 0, size 1626 LEBs (209793024 bytes, 200.1 MiB), LEB size 129024 byt
(initramfs):/#
(initramfs):/#
(initramfs):/# mount -t ubifs ubi0:rootfs /mnt
UBIFS: default file-system created
UBIFS: mounted UBI device 0, volume 0, name "rootfs"
UBIFS: file system size: 208373760 bytes (203490 KiB, 198 MiB, 1615 LEBs)
UBIFS: journal size:
                         10450944 bytes (10206 KiB, 9 MiB, 81 LEBs)
UBIFS: media format:
                           4 (latest is 4)
UBIFS: default compressor: 1zo
UBIFS: reserved for root: 5182151 bytes (5060 KiB)
(initramfs):/#
(initramfs):/#
```

5-2-8. ルートファイルシステムを書き込む

- 1 再起動せずに電源を入れたまま、SD1を取り出し、SD2を入れてください。
 - * SD2(4で「urbetter-android-1.5-rootfs.tar」をコピー済)
- 2 操作内容

```
mount -t vfat /dev/mmcblk0p1 /home

tar xvf /home/urbetter-android-1.5-rootfs.tar -C /mnt

umount /mnt

umount /home
```



5-2-9. ブートを Nand Flash に書き込む

- 1.【操作条件】
- SD ブート状態:1111
- ②SD1 カードを ARM11 ボードに入れてください。
- ③付属 USB ケーブルで PC と ARM11 を接続し、PC と接続したら、USB ドライバをインストールしてく ださい。 USB Driver 場所: \tools\text{\tools} tools\text{\text{\tools}} tools\text{\text{\text{\tools}}} tools\text{\text{\tools}} tools\text{\text{\text{\tools}}} tools\text{\text{\text{\tools}}} tools\text{\text

U-Boot を起動する(「Hit any key to stop autoboot」が出来たら、Enter キーを押す)

```
U-Boot 1.1.6 (Aug 3 2009 - 09:41:16) for SMDK6410
************
     UT-S3C6410/idea6410 SD boot v0.19
     ShenZhen Urbetter Technology
     Http://www.urbetter.com
**********
CPU:
        S3C6410@532MHz
        Fclk = 532MHz, Hclk = 133MHz, Pclk = 66MHz, Serial = CLKUART (SYNC Mode)
        SMDK6410
Board:
DRAM:
        128 MB
Flash:
        0 kB
NAND:
        256 MB
*** Warning - bad CRC or NAND, using default environment
In:
        serial
Out:
        serial
Err:
        serial
        Not Found CS8900@0x18800300
Net:
Hit any key to stop autoboot: 0
SMDK6410 #
SMDK6410 #
SMDK6410 #
```

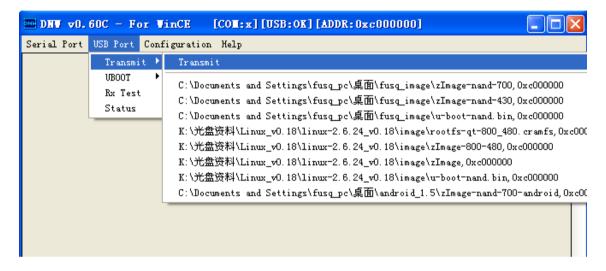


2. コマンド「dnw c0008000」を発行(最後 Enter キーを入力)

```
SMDK6410 #
SMDK6410 #
SMDK6410 # dnw c0008000
OTG cable Connected!
Now, Waiting for DNW to transmit data
```

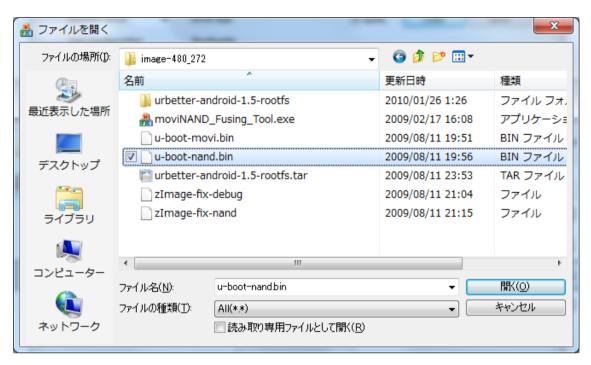
3. dnw を起動

USB Port -> Transmit -> Transmit





4. u-boot-nand.binを開く



```
SMDK6410 #
SMDK6410 # dnw c0008000
OTG cable Connected!
Now, Waiting for DNW to transmit data
Download Done!! Download Address: 0xc0008000, Download Filesize:0x30000
Checksum is being calculated.
Checksum O.K.
SMDK6410 #
SMDK6410 #
```

5. ubootをnand flash 0に書き込む

コマンド「nand write c0008000 0 100000」を発行(Enterを入力)

```
SMDK6410 #
SMDK6410 #
SMDK6410 # nand write c0008000 0 100000
NAND write: device 0 offset 0x0, size 0x100000
1048576 bytes written: OK
SMDK6410 #
```



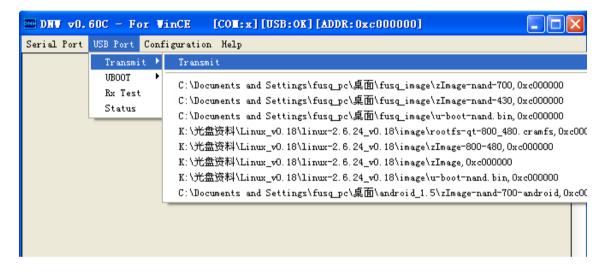
5-2-10 イメージファイルを書き込む(9-4の画面で続きまして)

1. コマンド「dnw c0008000」を発行(最後Enterキーを入力)

```
SMDK6410 #
SMDK6410 # dnw c0008000
Insert a OTG cable into the connector!
OTG cable Connected!
Now, Waiting for DNW to transmit data
Download Done!! Download Address: 0xc0008000, Download Filesize:0x20
Checksum is being calculated...
Checksum 0.K.
SMDK6410 #
```

2. dnw を起動

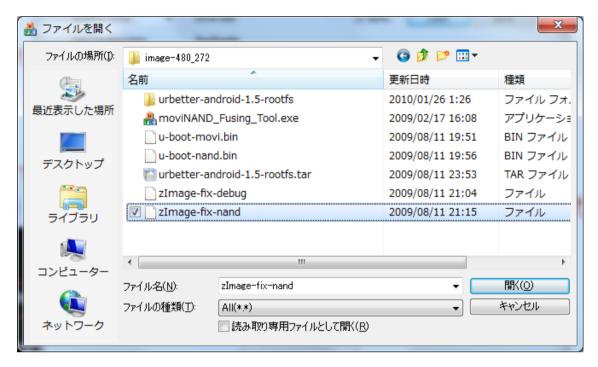
USB Port → Transmit → Transmit







3. zImage-fix-nandを開く



4. zImage-fix-nandを「nand flash 0x600000」に書き込む コマンド「nand write c0008000 600000 300000」を発行(Enterを入力)

```
SMDK6410 #
SMDK6410 #
SMDK6410 #
SMDK6410 # nand write c0008000 600000 300000

NAND write: device 0 offset 0x600000, size 0x300000
3145728 bytes written: OK
SMDK6410 #
```



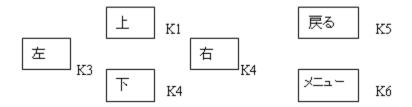
ロラテクリッパーねた可能による

5-2-11 Nand Flash起動モードに設定(SW1:1100)、ARM11を再起動

Androidを初めて起動する場合、時間がかかります。起動後、1分間でスリープ状態に入ります。そのため、起動後、設定は変更必要です。

Androidのメイン画面で、「K6」(メニューボタン)を押し、 "Settings"を選択し、

- "Sound & Display" $\$ "Screen timeout" $\$ "Never timeout"
 - *ARM11ユーザーボタンはAndroidが起動の際に操作イメージを下記の図に参照





付録:ネットワーク設定

- 1. 起動前にLANケーブルを付ける場合、IPは自動取得されますので、特に設定必要がありません。
- 2. 起動後LANケーブルを付ける場合、手動で設定必要です。
 - ① LANケーブルを接続する時、

```
#
#
# eth0: link up, 100Mbps, full-duplex, lpa 0x45E1
# <mark>|</mark>
```

② ネットワークの状況を調べ、コマンド「netcfg」

```
# netcfg
               127.0.0.1
         UP
10
                               255.0.0.0
                                                0x00000049
         UP
                               0.0.0.0
                                                0x 00001 043
eth0
               0.0.0.0
tunl0
         DOWN
               0.0.0.0
                               0.0.0.0
                                                0x00000080
qre0
         DOWN
               0.0.0.0
                               0.0.0.0
                                                0x00000080
```

上記の結果により、IPは取れてない状況です。

- ③ コマンド「netcfg eth0 up」を発行
- ④ コマンド「netcfg eth0 dhcp」を発行
- ⑤ コマンド「netcfg」をもう一回発行

```
# netcfq
Ĺo
         UP
                127.0.0.1
                                 255.0.0.0
                                                  0x00000049
eth0
         UP
                192.168.1.113
                               255.255.255.0
                                                  0x 00001 043
tun10
         DOWN
                0.0.0.0
                                 0.0.0.0
                                                  0x00000080
                                                  0x 00000008 0
gre0
         DOWN
                0.0.0.0
                                 0.0.0.0
```

IPは割り当てられたことを明らかにした、ネットワークは接続できます。



最後: Android起動後の様子

